

一般財団法人 語学教育研究所

2023 年度研究大会プログラム

今年度の語研大会は、11月19日にオンラインで行う協議会・講演会（第1部）と、12月17日に対面で実施する公開授業（第2部）の2部構成で実施します。公開授業の後には、語研創立100周年を記念する祝賀会も開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。なお、いずれも、参加には事前の申し込みをお願いします。

第1部 協議会・講演会：11月19日（日）Zoomによるオンライン開催

申し込み期間：10月13日（金）～11月17日（金） 申し込み：語研 HP から <https://www.irlt.or.jp>
 会員・大学生・大学院生（社会人大学院生を除く）：無料 非会員：2,000円



全体会 [ルーム1]

入室開始 9:30～

司会：日高 由美子（東京都千代田区立九段中等教育学校）

1. 開会式 9:40 ～ 9:50

挨拶：研究所所長 小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

2. 協議会 I [ルームを選んでお入りください]9:50 ～ 11:50

<p>協議会 A [ルーム1]</p>	<p>授業研究：高校3年生「コミュニケーション英語Ⅲ」《第5研究グループ》</p> <p>1名の授業者の同じクラスで同じ科目の英語の授業を複数回撮影しました。1回の授業ごとに検討会を行い、次の授業を検討会の内容を踏まえて行ってもらいました。その授業改善の過程を提示します。今年度の授業者は、教員歴10年目の教師です。受験を控えた高校3年生の授業において、生徒との interaction を大切にしながら、英語での授業を目指します。</p> <p>司会者：日高 由美子（東京都千代田区立九段中等教育学校） 授業者：高橋 淳（兵庫県立淡路三原高等学校） 助言者：小菅 敦子（武蔵野大学 他）</p>
<p>協議会 B [ルーム2]</p>	<p>小学校英語教育研究：「読む力」を育む指導 ～小学生にとっての「読むこと」とは～ 《第10研究グループ》</p> <p>小学校の4年間で、子どもたちはどのように文字を読むようになっていくのでしょうか。また、子どもたちの英語学習において、文字はどのような役割を果たすのでしょうか。歌詞を活用した調査から、子どもたちの前向きに読もうとする姿が見えてきました。読む力を育む指導について、実践を踏まえた具体的な指導例を示しつつ、提案します。</p> <p>発表者：村田 依玖美（東京都港区立東町小学校） 相田 眞喜子（田園調布雙葉小学校） 第10研究グループ研究員</p>

<p>協議会 C [ルーム 3]</p>	<p>会員発表 (公募) 司会者：北出 義伸 (立正大学附属立正中学高等学校)</p> <p>1. オンライン国際交流実践授業の成果と課題 ～公立小学校の事例～ 発表者：小山 陽子 (神奈川県茅ヶ崎市立西浜小学校)</p> <p>2. 海外の教員との交流事業を活用した実践 ～児童が必要感をもって創る授業を目指して～ 発表者：有江 聖 (埼玉県さいたま市立本太小学校)</p> <p>3. Improving Grammar Skills through Extemporaneous Speaking 発表者：遠藤 真希子 (神奈川県横浜市立みなと総合高等学校)</p> <p>4. 指導者養成段階におけるオンライン英語授業実践 —Society 5.0 時代の外国語教師認知について— 発表者：小堀 真知子 (法政大学)</p>
<p>全体会 [ルーム 1]</p> <p>3. 贈賞式 11:55 ～ 12:15 1) パーマー賞 2) 外国語教育研究賞 3) 若林俊輔奨励賞</p> <p>4. 会員総会 司会：常務理事 小菅 敦子 (武蔵野大学 他) 12:15 ～ 12:35</p>	
<p>休憩・広報タイム [語研の活動紹介や出版社からのお知らせ] 12:35 ～ 13:10</p>	

5. 協議会 II [ルームを選んでお入りください] 13:10 ～ 14:40

<p>協議会 D [ルーム 1]</p>	<p>指導法研究： 1 関係代名詞の指導 (中学校) 2 アクティブラーニングを支える指導技術 (高等学校) 《第3研究グループ》</p> <p>1. 語研の過去の研究成果を踏まえて、関係代名詞の望ましい指導法を提案します。 2. アクティブラーニングを成立させるために、語研の提唱する指導技術が授業の各段階でどのように活用できるかを提案します。</p> <p>司会者：田島 拓弥 (東京都八王子市立第七中学校) 発表者：大内 由香里 (東京都荒川区立第九中学校) 山崎 勝 (埼玉県立和光国際高等学校) 解説者：小菅 和也 (武蔵野大学名誉教授)</p>
<p>協議会 E [ルーム 2]</p>	<p>中学高校英語研究：生徒の理解を深める発問の工夫 《第26研究グループ》</p> <p>本文内容の導入から理解、そして思考判断・表現力へとつなげていくために、2人の授業者が考え抜いた発問が、授業の中で生徒の理解の助けとして活かされている様子をビデオでご覧いただきます。発問のタイミング、方法、目的に着目して授業者の意図するところをビデオ視聴とともに解説し、参加者の皆さんからの質問や意見を募ります。</p> <p>司会者：杉内 光成 (獨協埼玉中学高等学校) 発表者：鈴木 文也 (高崎健康福祉大学) 松田 万里阿 (麗澤中学高等学校)</p>

協議会 F [ルーム 3]	パーマー研究：パーマーに学ぶ授業の進め方 《第6研究グループ》 語研の初代所長ハロルド E. パーマーは、the Oral Method の理論だけでなく実際に使用する教材も多数著しています。そのうちの1つ <i>English Through Actions</i> (1925) をもとに、パーマーが提案した授業を一部実演します。また、それを取り入れた中学1年生の授業場面をお見せします。 司会者：久保野 りえ（都留文科大学 他） 発表者：佐々木 貴久（慶應義塾高等学校） 木村 祐太（石川県金沢市立西南部中学校） 解説者：浅野 伸子（東京都立小山台高等学校）
全体会 [ルーム 1] 6. 特別講演 語研と私 藤井 昌子（元文教大学）…………… 14:50 ～ 16:00 授業で生徒や学生が時折見せる「わかった！」という表情に出会いたくて長く教壇に立ち続けた。授業が何よりも好きである。私の学びの場は語研であった。今もそうである。語研での研鑽なくして今の私は存在しない。語研で学んだ日々を語り、「教師は一生学び続ける存在である」という思いを皆さんと共有したい。生徒の心に響く授業と一緒に目指していきたい。 7. 閉会式 …………… 16:00 ～ 16:10 挨拶：常務理事 小菅 敦子（武蔵野大学 他）	

第2部 公開授業：12月17日（日） 於：筑波大学附属高校桐陰会館

申込期間：11月19日（日）～12月13日（水）

会員・大学生・大学院生（社会人大学院生を除く）：無料 非会員：1,000円（第1部（オンライン）に参加の方は無料です）
 第1部（オンライン）とは別に、事前の申し込みが必要です、当日の参加はできません。

*収容人数の都合上、非会員の学生は語研会員からの紹介をお願いしています。申し込み時に会員の名前を入力して下さい。

公開授業「中学校3年生」…………… 14:00 ～ 16:10

指導の基礎・基本を大切に「普通の授業」をご覧ください。2クラス3展開の少人数授業で、使用教科書は *New Crown 3*（三省堂）です。

司会者：吉田 章人（日本女子大学附属高等学校）

授業者：大内 由香里（東京都荒川区立第九中学校）

解説者：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

語学教育研究所創立100周年記念祝賀会

日時：12月17日（日）17:00～19:00

会場：“嘉ノ雅” 茗溪館（東京都文京区/茗荷谷駅1分）

参加費：10,000円

申込期間：11月1日（水）～12月5日（火）

祝賀会の会場は公開授業の会場から徒歩5分ほどです。立席でのお食事と飲み物をご用意しています。多くの方が集う場になれば幸いです。奮ってご参加下さい。100周年を機に、語研へのご寄付もお願いしています、祝賀会参加申込（パスマーケット）からどうぞ。

PassMarket

お申し込みについてのご案内

- ◇ 語研大会（第1部、第2部）、記念祝賀会ともに、参加費の有無に関わらず、ご参加には全て事前にお申し込みをお願いします。研究員（発表者）、会員の皆さんも、忘れずにお申し込みください。
- ◇ 申し込みにはパスマーケット（Yahoo! JAPAN のデジタルチケットシステム）を利用します。Yahoo のアカウントがなくても利用できます。第2部（公開授業）へご参加の際は、会場受付でパスマーケットの「チケット情報」を確認します。スマホなどの画面や印刷したものを予めご準備ください。
- ◇ 参加費のお支払いは、クレジットカード、PayPay、コンビニ払い、から選択して下さい。